

1. ポール・ハリス・ソサエティーの件

当地区における、今年度(2018-7-1)の状況を下記の通り、報告します。(2019-2-28日現在)

No	入会年月日	御氏名	所属クラブ
①	2018-7-9	高橋 賢吾	水戸西 RC
②	2018-7-31	中村 澄人	東海那珂 RC
③	2018-10-1	櫻山 拓雄	大子 RC
④	2018-10-10	斎藤 暁	結城 RC
⑤	2018-10-17	菅野しのぶ	北茨城 RC
⑥	2019-1-29	池田 正純	牛久 RC
⑦	2019-2-14	鈴木 茂美	日立 RC

以上7名の方々に御入会頂きました。厚く御礼申し上げます。累計の入会者数は、62名と成りましたが、御逝去=1名、御高齢による退会者=2名、他=1名により、現在の当地区における入会者数=58名と成りました。

御参考までに、2018年12月31日現在の世界のPHS会員数は、22,525名。日本=863名と報告されて居ります。

また、2017-18年に100%ポール・ハリス・ソサエティーを達成されたクラブは、下記の通りです。
アンバサダー・ロータリークラブ(米国、カンザス州)
大邸太白ロータリークラブ(韓国)
一山青瓦ロータリークラブ(韓国)
お祝い申し上げます。

2. 年次寄付「0」クラブ零の件

題記に関し、「財団室ニュース」1月号で、当地区は、16クラブが該当と報告され、2月号で4クラブ、と成り、2月28日現在、第2分区で1クラブ、第5分区で1クラブ合計2クラブと成りました。

過去6年間に亘り連続、「0」クラブ零を達成して参りました。今年度も是非継続達成を目指したく、御協力の程を宜しくお願い致します。(本紙発行の時期と納入時期に、行き違いがありました場合は、お許しください。)

3. 中村年度地区補助金への取り組み

題記に関し、3月10日に計画して居ります「補助金管理セミナー」を前にして、2月18日に、奉仕プロジェクト委員会臨時研究会が、今年度及び次年度関係委員が招集され開催されました。財団委員会からも代表2名が出席の機会を得ました。

既報告の通り、次年度は、補助金の額が約\$8,000増額される事。従来、各クラブによる個別案件提案型から、合同事業型への取り組みの採用、青少年奉仕委員会と奉仕プロジェクトとの協力体制について、等議論されたと伺って居ります。

地区補助金の活用が、活性化される事は、大いに歓迎されるべきであり、奉仕委員会との連携を通じて各クラブの御理解を得て、財団委員会としても取り組んで参る所存です。

(地区補助金・・・御参考)

- ・国内、海外のプロジェクトに使えます。
- ・地区が管理する(block grant)：一括して授与される補助金です。
- ・ロータリークラブの無い国や地域にも活用できます。
- ・地区財団活用資金(DDF)のみの使用です。国際財団活用資金(WF)の使用はありません。
- ・ロータリーに相応しいものであれば、プロジェクトの種類(グローバル補助金の6つの重点分野)の様な制約は、受けません。
- ・願わくば18か月以内に終了するプロジェクトである事と成って居りますが、当地区では、実行年度に(登録されている方の在任中に)完了して頂く事を目標に、年度内に全報告書を提出できる様お願いして居ります。(年度内に取り組んだ全地区補助金プログラムの報告書が提出、受理、認可されないこと次年度の地区補助金が認可されない事に成る為です。)

5. 会員基盤向上セミナー(4月8日~9日予定)にて、「ポリオの無い世界の為の奉仕賞(地域賞)」受賞内容発表の件

地区財団ニュース1月号で御報告した題記の件に関し、被表彰者の神山 芳子様(下館RC)が発表の機会を頂く事に成りました。(4月9日の予定)

6. 野生株によるポリオ症例数

国	2019-1/1~2/20	2018	2017	2016
パキスタン	4	12	8	20
アフガニスタン	2	21	14	13
ナイジェリア	0	0	0	4
赤道ギニア	0	0	0	0
合計	6	33	22	37